

【DS メールニュース DSMN 第 14 号】

日本ドキュメントサービス協同組合連合会（以下 DS 連）
所属員、パートナーズ会員、DSL Lab.関係、賛助会員各位

皆様方におかれましては新年のよき日をお迎えになられたものとお喜び申し上げます。
2025 年、皆さま方の御多幸とさらなる飛躍をお祈りいたします。

すでに 2 月です。

あっという間に時は過ぎていきました。

12 月になって、今年は何をしたのだろうかと思わないように充実した 1 年を過ごしたいものです。

DS 連事業も心せかされます。

さて、DS 連の第一の戦略的プロジェクトとして DSL Lab.事業はシーズン 4 を迎えます。
継続こそ力です。

その力の集合が DS 知へと昇華した時、業界のシンクタンクの価値を生じると考えています。

徳門委員長はじめ次世代を担う委員の方々のご尽力に深く敬意を表します。

彼らが先導し賛助会員様から情報提供や運営のご支援いただき 4 年目のシーズンを迎えます。

今年も大いに期待ください。

また、2024 年 11 月より始めた GCP セミナー事業は 3 回目が 1 月 30 日に実施されました。
報告は 3 月号になります。

4 回目は 2 月 26 日に決定しています。

本セミナーもアンケート分析などのために詳細な報告は 4 月号になります。

GCP セミナー事業は賛助会員様との新しい互恵関係を構築するうえで第二の戦略的プロジェクトです。

是非とも各協同組合様のお力を借りて推進してまいりたい所存です。

参加促進のご協力をよろしく願いいたします。

その他今年もやることが一杯です。

次世代型 DS 連の議論も始まりました。

次世代に継承可能な組織体を再構築することは現世代の責任です。

DSMN を通じて議論の経過をお伝えしたいと思います。

(3月号にて概要を報告します)

広報 (DSMN) は各協同組合事務局様や委員会のご支援をいただいています。

DS 連の目的は各協同組合様の活性化にあります。

それぞれの活動状況が刺激となりよき連鎖を願っています。

かつ、それらの事業に会員諸氏がお一人でも多くご参加いただくことを祈っています。

それらの諸活動を支えるのが DS 連事務局です。

外からは見えにくいけれど、大切な組織の維持と発展のために地道な努力を積み重ねています。

会長として感謝の気持ちでいっぱいです。

このように 2025 年も賛助会員様の力もお借りして会員の皆様方に意義のある DS 連として活動を推進してまいります。

日本ドキュメントサービス協同組合連合会

会長 楠本雅一

＝今回お届けする内容＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

1 【Game Changer Presentation Project (GCP)】

第4回 GCP セミナー参加受付！

AI が加速する医療イノベーションの軌跡と社会イノベーションの未来

2 【第3回 GCP セミナーは終了しました】

3 【第2回 GCP セミナー 再配信速報】

4 【DS 連事務局：全国中央会新春交流会（新年互礼会）報告】

5 【DSLAb.委員会】

第4回 DSLAb.season4 企画会議

6 【DC プラン (401K)】

7 【東京 DS 協同組合】

8 【近畿 DS 協同組合】

9 【九州 DS 協同組合】

10 【沖縄 DS 協同組合】

11 【DS 連事務局より No. 1】

12 【DS 連事務局より No. 2】

13 【DS 連事務局より No. 3】（阪神淡路大震災の記憶・地震対策情報・継続配信）

14 【編集子より】

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

1 【Game Changer Presentation Project (GCP)】

ゲームチェンジャーを見逃すな！

■テーマ：AI が加速する医療イノベーションの軌跡と社会イノベーションの未来

~~~~~  
第4回 GCP セミナー

■日 時：2025 年 2 月 26 日（水）16：00～17：30

■講 師：鍋田敏之様

富士フイルムビジネスイノベーション株式会社常務取締役（CTO）

<技術・開発全般、知的財産 管掌 兼 CTO 戦略室長>

■主 催：日本ドキュメントサービス協同組合連合会

■共催1：富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社 GC 営業統括部

■共催2：富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社大阪支社

■共催3：DDSS (Digital Document Service Society)

→DS 業界や印刷業界が参加するドキュメントサービス研究会

→1997 年 9 月創設 FBJ 様に事務局があります

---

### 第4回 GCP セミナー参加受付！

■予定されているプログラム（予告なく変更の場合があります）

1. Sustainable Value Plan 2030 とメディカルシステム事業の概要
2. IT・AI 技術の活用による付加価値向上
3. メディカルシステム事業の今後の成長戦略
4. メディカルで培った技術や価値提供スキームのグループ全社への展開

■講師の鍋田敏之様よりひとこと

弊社メディカルシステム事業では、2015 年より AI 技術活用による飛躍的な付加価値向上と「モノ+コト」ビジネスへの転換と成長を図って参りました。

次なるステップとして、その経験値やスキームをビジネスイノベーション領域へ拡大展開する活動に取り組みを 2024 年より開始しました。

ゲームチェンジの一手として AI 技術を活用してきた経験や現在の取り組み状況をご紹介します。

■申し込み URL：

●会場申し込み用（会場でのご参加の方 専用お申し込みサイト登録）

<https://fbj-gc-event.smtkg.jp/public/seminar/view/1882>

→締切 2/20（木）18:00 まで【定員 60 名】

●Zoom 申し込み用（Zoom 配信でのご参加の方 専用お申し込みサイト登録）

<https://fbj-gc-event.smtkg.jp/public/seminar/view/1883>

→締切 2/21（金）18:00 まで【定員 100 名】

■申し込み QR コード：メールに添付いたします

→「会場参加申込」と「Zoom 参加申込」の URL と QR コードが別ですので、間違えないようにしてください。（申込締切日も違います）

■開催日までご案内を適宜再配信します。

ご参加のほどよろしくお願いいたします。

すでにお申し込みの方にもお送りしますが重複をご容赦ください。

◆DS 連 GCP セミナーのお問い合わせは下記までお願いします◆

富士フイルムビジネスイノベーションジャパン GCP セミナー事務局

メールアドレス： [dgi-fbj-gc-ds@fujifilm.com](mailto:dgi-fbj-gc-ds@fujifilm.com)

---

#### 第 4 回 GCP セミナーの背景

---

##### 【医療系 AI の社会実装】

私たちは病にかかり通院・入院してみると医師や看護師はじめ医療の現場の多くの方々の過酷な働きぶりや環境を実感します。

その方々のご献身により私たちは健康を維持できています。

しかしこの状況を続けることは可能でしょうか。

一方高齢化により病院にお世話になる機会は増えています。

人間の力だけではたぶん限界に来ているように思います。

そこに「医療機器×ICT×AI」技術が医師や看護師や多くの医療関係者に寄り添う時代がやってきました。

それがひいては患者に寄り添うことになります。

汎用型生成 AI ではフレーム問題や記号着地問題があります。

しかし医療系に特化した生成 AI では比較的 AI が持つ根源的課題は軽くなるのかと素人的

に考えます。

もちろん開発される方のご苦勞は並大抵だとは思っています。

医療系はじめ専門の特定領域から生成 AI は社会に実装されるだろうと想像します。

今回の第 4 回目 GCP セミナーは医療現場をゲームチェンジする富士フイルム様の「REILI」の要点をお届けいたします。

本システムを開発された鍋田敏之様にその概要をご講演いただきます。

---

## DS 連にとって第 4 回 GCP セミナーの意義

---

### 【なぜ実施するのか？】

ドキュメントサービスをドメインとする DS 連が医療系のセミナーを今回実施します。

なぜか？

私たちの業界は 2017 年に複写からドキュメントサービスへとドメインの転換をしました。DX 環境においてドキュメントは常に生成進化するという考えからあえて事業を特定するような狭小な定義は避けました。

しかし根幹のドキュメントの価値（定義）は普遍です。

「情報があり、その意味によって人が動く・動かされる」という点においてドキュメントの価値があります。

今まで私たちは紙を中心に事業を展開してきました。

しかし世の中の環境変化によりペーパーレスが進みました。

それに戸惑っているのが現状です。

そこからいかに脱出し新しい事業を創造するのか。

業界全体が突きつけられている喫緊の課題です。

そこでドキュメントの定義「情報があり、意味があり、人が動き動かされる」という点にフォーカスしました。

その定義によると、医療系の画像、レントゲンや MRI や CT 画像などはある意味究極のドキュメントだと判断しました。

そして「その情報が、人にどのような意味を与え、人をよりよい方向に動かし、社会を進化させるのか」を学びたいと思います。

今回セミナー通じて、私たちの事業領域である「ドキュメントサービスの社会的意義」を想像していただきたい。

第 2 回 GCP セミナーでは Adobe Firefly の画像生成 AI をテーマとしました。

第 4 回 GCP セミナーでは画像分析 AI (分析だけではありません) をテーマとしています。

健康の問題ですからその視点でも多くの方々にご視聴いただきたいと思います。

またドキュメントとは何かということを考えている次代の人たちのヒントになればと思っ

ています。

紙からいったん離れドキュメントを考える。

そして価値を知りドキュメントに回帰する。

その時、紙は新たな光を放つだろう。

健康からドメイン（事業領域）まで高度な超刺激的セミナーです。

是非ご参加いただきたくお願いいたします。

（DS 連会長楠本雅一 & TeamTokyo）

~~~~~

2 【Game Changer Presentation Project (GCP)】

第3回 GCP セミナーは終了しました

~~~~~

■テーマ：高生産・短納期実現の次世代高速インクジェットプリンター！最新モデル

■日 時：2025年1月30日（木）16：00～17：30

■主 催：日本ドキュメントサービス協同組合連合会

■共 催：株式会社 日本HP 大判プリンター事業本部

賛助会員様の革新的な新生産財は業界の歴史において我々のゲームチェンジを起こしました。

その導入により私たちの業態は進化してきました。

いわば私たちのイノベーション（＝ゲームチェンジ）は賛助会員様のおかげと言えます。

大判プリンターの進化はいかがでしょうか。

私たちの業態をゲームチェンジさせる力はあるのだろうか？

そのような考え方で本セミナーを実施しました。

第3回 GCP セミナーに多くの方々のご参加ありがとうございました。

DSMN3月号にてセミナーの概要を報告いたします。

（DS 連 TeamTokyo）

~~~~~

3 【第2回 GCP セミナー再配信速報】

~~~~~

第2回 GCP セミナー再配信は1月21日から1月27日に実施しました。

今後とも機会があれば御参加できなかった方々に再配信をする予定です。

【再配信速報！】

DS 連本部事務局小野です。

今朝（1/27）9時をもって、第2回 GCP セミナー動画配信を終了しました。

視聴者数は32名でしたことを報告いたします。

先週の金曜日では4名でしたが休日を挟んで一気に増加したようです。

皆様にご覧いただけたので動画配信をしてみてよかったと思います。

参考：第2回 GCP セミナー

■日 時：12月10日（火）16：00～17：30

■テーマ：デザイン環境のゲームチェンジ（GC）！

DS 業界に与えるインパクトは？

■共 催：富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社様（FBJ）

■講 師：大森茂樹様（FBJ）

ちなみに参加者は

当日参加者：59名

再配信参加者：32名

総数：91名

多数のご参加ありがとうございました。

<DS 連 TeamTokyo>

~~~~~

4 【DS 連事務局】

全国中央会新春交流会（新年互礼会）報告

~~~~~

1月28日全国中央会新春交流会（新年互礼会）に出席しました。

23組合と全国中央会4名の参加でした。

#### 【第一部】

各組合の課題及び解決として取り組んでいることを発表するという内容のニュアンスに変わり尚且つ1組合2分の持ち分に変更となりました。

各組合、人材不足や賃金値上げなど一般的な課題に対する解決方法、

また外国人を組合がまとめて募集するなどが発表されました。

組合員数5000人等、皆さん全国レベルの組合です。

したがって規模が大きく、事業で必要な資格を国家資格に変えたり、組合ならではの取り組みをされていました。

そのなかで製本組合さんは組合員数の減少を課題とされ、事業変革を迫られているとのこと  
とで共感できました。

私は、2分という制限時間のなかで、複写連からDS連へと名称の変更、事業領域の変更を  
説明し、さらに生成AIの新たな潮流、その最新情報の手段としてGCPセミナー（ゲーム  
チェンジの種の情報共有）、そしてその事業遂行による賛助会員様とのかかわりが深まる旨  
を話しました。

当初5分と聞いていました。

順番が回ってくるまでに元の5分原稿を2分に短縮するのに苦労しました。

文章のつながりがうまくいっていなかったかもしれませんが、GCPセミナーを開催し、賛助  
会員とのWin-Winの関係を築き、組合員数の増加を目指す旨伝えました。

精一杯やり切りました！

## 【第二部】

立食の懇親会でした。

小野は人見知りで(?)このような場は苦手でしたので中央会でご担当の矢田部様を見つけ  
て情報共有と懇談をしました。

事務局の参加で申し訳なかった旨を告げると、当会は専務理事や事務局長が参加されるの  
で、ちょうどよかったとのことでした。

以上ご報告します。

<日本ドキュメントサービス協同組合連合会 事務局長 小野恵美子>

~~~~~

5 【DSLAb.委員会】

第4回DSLAb.season4 企画会議

~~~~~

DSLAb.season4 企画会議

DSLAb.委員会メンバー：徳門委員長（沖縄）、小川委員（熊本）、安平委員（熊本）

山田委員（愛媛）、橋本委員（兵庫）、森下委員（東京）

DSLAb.委員会サポートメンバー：小野事務局長、鈴木（FBJ）、橋本（FBJ）

検討会議

2024年10月8日→DS.Lab シーズン3レビュー会（シーズン4に向けての準備）

2024年10月22日→DS.Lab シーズン4第1回検討会

2025年1月7日→DS.Lab シーズン4第2回検討会



2025年1月21日⇒DS.Lab シーズン4 第3回検討会

(各会議は18:00~19:15)

昨年の10月8日からDS.Lab シーズン4の検討は始まった。

「継続こそ力である」との信念のもと4回の企画会議を重ねた。

アイデアは出尽くしたかもしれない。

しかしこの3年間でも状況は大いに変化している。

DS業界全体で共有しなければならない知はもっとあるはずだ。

企画会議の都度、徳門委員長のもと委員から様々な提案がなされる。

ひとつひとつ内容の検討がされる。

実施にあたっての講師手配などの実現可能性も調査される。

早くセミナーを実施したいのだが将来を考えると立ち止まって考えることは必要である。

このようなプロセスがより高度な事業へと成長させる。

組織にとって重要な踊り場である。

事務局長やFBJさんのサポーターが心強い。

次に直近の検討会の概要を報告してシーズン4の予告としたい。

#### 【2025年1月21日 DS.Lab シーズン4 第3回検討会】

日時：2025年1月21日（火）18:00~19:20

出席者：徳門委員長・森下委員・安武委員

FBJ 鈴木様 DDSS 橋本様

楠本会長・小野事務局

#### ●提案されたセミナー

- ・マイクロソフトを学びなおす⇒Microsoft Office365
- ・プロンプトを学ぶ⇒Prompt Engineering
- ・キントーンを学ぶ⇒キントーン MIS
- ・Canvaの最新情報を知る⇒エンタープライズ版
- ・今までセミナーを受講して実際利用した結果を共有する。
- ・R社さんのデジタルサイエンスのデータの選び方を学ぶ
- ・いま旬の生成AIって何？ AIを学ぶ！
- ・AI活用について社内規定について学ぶ
- ・CanvaとAdobeのリンクのさせ方を学ぶ

#### ●パネルディスカッションのテーマ

- ・新技術を知ろう

・興味のあるものをあつめました！

・各自がどんなことに関心があるかを発表する

受講することによって刺激を受け、次にどう進むか考える

多様性の時代であるのであえてテーマを決めず 5 人の発言から参加された方々に何かひっかかるものがあるのではないか？

以上の議論を熱く語り合った。

セミナー日程等を検討して企画会議は終了した。

<DS 連 DS.Lab 委員会委員長 徳門聡佳>

~~~~~

6 【DC プラン (401K)】

金融リテラシーのブラッシュアップ

~~~~~

★DC プラン業務管理室「金融リテラシーのブラッシュアップ」について

<はじめに>

今回も、DC プラン業務管理室からの情報提供として、生活スキルとして「最低限」身に付けるべき金融リテラシーについて解説します。ここからは「家計管理」「生活設計」「金融知識及び金融経済事情の理解と適切な金融商品の選択」「外部の知見の適切な活用」という 4 つの分野に分けて「若手社会人」及び「一般社会人」に必要なとされる金融リテラシーの内容を掲載していきます。

※この内容は、金融広報中央委員会の<知るぽると>で公表されているものです。

<家計管理>

### 【若手社会人】

■家計の担い手として収支管理の必要性を理解し、赤字を出さない意思をもっている。

■収入のうち、一定額を天引きにするなどの方法により、貯蓄を始めている。

■必要性や収入等、様々な要素を勘案して、支出の適否を的確に判断できる。

■趣味や自分の能力向上のための支出を、計画をたてておこなうことができる。

■各種のクレジット機能を利用する場合、将来の支出である（借金である）ことをよく理解し、将来の決済時点で収支がバランスする範囲内で利用する（クレジットカードでは、一括払など以外は金利がかかることを認識する）。

■借入に際しては、返済計画をたてて、将来の収支がバランスする範囲内でおこなうことができる。

■高金利で借りることを避けることができる。

■収入のうち手取り額（可処分所得）について、給与明細書等で把握している。

- 給与明細書や源泉徴収票に記載されている内容（税金、社会保険料等）を理解できる。
- 支出（生活費等）について把握している。
- 収支残高帳または家計簿などで、収支管理を適切に行っている。

#### 【一般社会人】

- 家計を主として支える立場から収入・支出を把握し、家計簿で収支管理を行うなど、適切な収支管理が習慣化している。
- 収入（手取り額）、支出の特性（一時的か定常的か等）を的確に把握し、先行の収支見通しを立てることができる。
- 必要性や収入等、様々な要素を勘案して、支出の適否を的確に判断できる。
- 収支の改善に努め、黒字を確保し、貯蓄や投資を通じて将来に向けた資産形成を行っている。
- 家族構成等を踏まえたリタイア後の基本生活費の概要を把握するとともに、リタイア後の収入や金融資産の状況を予想し、必要に応じ改善のための行動がとれる。
- 資産・負債を定期的を確認し、資産を増やし、負債を減らすよう努めている。
- 必要に応じ、負債（住宅ローン等）も計画的かつ有効に利用することができる。
- 高金利で借りることを避けることができる。
- 物を大切にしよう、子を日常的に指導できる。
- お金には限りがあり、その範囲内で家計管理をおこなうことが大切であることを、自分の経験なども踏まえて子供に教えることができる。<DS 連 DC プラン業務管理室/佐々木信司>

~~~~~

7 【東京 DS 協同組合】

~~~~~

東京ドキュメントサービス協同組合よりお知らせいたします。

関東複写センター協同組合 新年賀詞交歓会へ参加

日 時：1月22日水曜日 17時30分～19時30分

場 所：江戸総鎮守神田明神 明神会館

参加者：梶理事長

神田明神内の明神会館にて関東複写センター協同組合さんの新年賀詞交歓会が盛大に行われました。

明神会館は主に神前結婚式で使用されている場所ですので神社という独特の雰囲気の中、何故か身が引き締まる思いでした。

松岡副理事長の開会のことばかり始まり、森迫理事長の挨拶などあっという間の 2 時間で  
した。

その中に若手の組合員の方たちの多数集まり新旧交えて総勢 40 人以上集まった新年賀詞交  
歓会で、帰りには神田明神のお守りを頂きました。

(理事長 梶宏朗)

\*\*\*\*\*

組合行事について

\*\*\*\*\*

●TDS 組合 情報交換会開催予定

日 時 : 2025 年 2 月 14 日 金曜日 18 時～

場 所 : 「新橋亭」新館

東京都港区新橋 2-4-2

皆さまご参加よろしくお願ひいたします。

●TDS 組合 2 月理事会開催予定

日 時 : 2025 年 2 月 14 日 金曜日 17 時～

場 所 : 「新橋亭」新館

以上です。

どうぞよろしくお願ひいたします。

(東京ドキュメントサービス協同組合 事務局 榎本有紀子)

~~~~~

8 【近畿 DS 協同組合】

~~~~~

近畿ドキュメントサービス協同組合よりお知らせいたします。

第 707 回理事会開催

●日 時 : 1 月 10 日 (金) 16 時～17 時

●場 所 : The33 Sense of Wedding 会場: エヴァン

1. 報告事項

1-1. 第 706 理事会議事録承認報告

1-2. 1 2 月 1 1 日定款変更許可受領及び 1 2 月 2 0 日大阪府競争入札参加資格更新完  
了受領報告

1-3. 1 月 2 1 日付けにて株式会社カンサイ代表取締役が巽圭司様に変更

2. 各事業委員会より

- 2-1. 福利厚生事業委員会 1/10 新年互礼会の件
- 2-2. 広報委員会 K D S N E W S No.319 号発行済み報告
- 2-3. 共同購買事業員会 キヤノンマーケティングジャパン株式会社春号チラシの件
- 2-4. 教育事業委員会 桂川電機(株)セミナーの件
- 3. 組合員脱退の件 平安光業(株)・三田青写真工業(株)・(株)貴志
- 4. その他

令和7年 新年互礼会開催

●日時：2025年1月10日(金) 18時~20時

●場所：The33 Sense of Wedding 会場：エヴァン

〒530-0001 大阪市北区梅田 2-4-9 ブリーゼブリーゼ 33 階

TEL:06-6347-1033

新年早々の開催ではありますが、組合員31名、来賓・賛助会員31名合計62名に参加申し込みを頂戴し、盛大に開催。ご祝辞では今年開催の関西万博の話が多数あり、その後の大抽選会では1等賞品が関西万博入場ペアチケットであった。

また、長年組合を担当頂き、この3月で退職される、キヤノンマーケティングジャパン株式会社東浦様、富士フイルムビジネスイノベーションジャパン(株)兵庫支社馬詰様から暖かいお言葉を頂戴した。お二方には長い間大変お世話になり有難うございました。

ご退職後でも事務局へお顔をだしてくださいませ。

\*\*\*\*\*

2025年2月予定について

\*\*\*\*\*

近畿ドキュメントサービス協同組合が後援しています。

MTOYACOLLABORATION FAIR 2025 開催

株式会社モトヤ

●日程：2025年2月13・14日

●会場：梅田サウスホール

創注×省力化×環境=COLLABORATION FAIR

第80回を数えるコラボレーションフェア。業界の課題解決するヒントとなる展示会です。そして、労働力不足解消自動化機器のご紹介、人が取り組むべき環境・SDGsへの対応のヒントとなる商材も展示されています。

近畿ドキュメントサービス協同組合と関西イメージ情報業連合会が協賛しています。

KIP digital plus OSAKA Seminar 2025 開催

桂川電機株式会社

●日時：2025年2月21日(金)

●会場：大阪マーチャндаイズ・マートビル OMM-205

『補助金活用による設備投資』

14：00～ごあいさつ / KIP の紹介

14：10～14：30 セミナー「大判市場の最新動向」

14：30～15：10 セミナー「補助金活用による設備投資」

15：25～16：25 展示見学 製品紹介

17：00～19：00 懇親会

今や、設備投資には欠かせない「補助金」ですが、申請手続きの手間やどの補助金がどの設備に適用できるか？など補助金に関するあれこれについて今回は写光オフィスパートナーズ株式会社様、株式会社 NTT 東日本サービス様、弊社の3社合同による補助金活用のスキームをご案内申し上げます。また、各社事業撤退が続く大判プリンター事業について最新の業界状況をご紹介致します。

第708回理事会開催

●日時：2月25日（火）17時～18時30分

●場所：近畿ドキュメントサービス協同組合事務局会議室

~~~~~

9【九州 DS 協同組合】

~~~~~

九州ドキュメントサービス協同組合よりお知らせいたします。

日本DS連のDSメールニュース(DSMN)が発行され2025年1月で第13号となりました。

DSMNは業界情報を伝える広報事業などを展開されています。

九州ドキュメントサービス協同組合としては発刊2年目を迎えるにあたり、当時の九複連の会長・副会長・理事の皆様が「九複連創刊号」=平成9年(1997年)1月に発行した、各氏の新年の投稿記事をDSMNへの情報としてご提供いたします。

下記に記載しておりますのでご一読ください。

### ★DS連会長より一言

島村様、貴重な資料のご提供まことにありがとうございます。

タイトルだけを見ても、今にも通じる普遍的なテーマが指摘されています。

内容を読んで見たいですね。

温故知新とはこういう所から学ぶことを言うのでしょうか。

それも業界団体という場があればこそ引き継がれていくものです。

DS連の価値がそこに在ります。

大事にしたいですね。

注1) 役職は当時のまま記載させていただきます

注2) 現在も九州 DS 協同組合にて活動中の組合員様が対象  
ご投稿いただいた文面の初めの「新年のご挨拶」は割愛させていただきます。

●九複連会長 青柳泰秀氏(アオヤギ株式会社、代表取締役社長)  
標題「機関誌の充実・研修・情報の強化を図る」 第14号

●九複連副会長 長柄倫三郎氏(株式会社九州ナガラ、代表取締役社長)  
標題「人と人との和、協調性を大切に」 第15号

●九複連副会長 福味俊一氏(株式会社星光社、代表取締役社長)  
標題「精神面の価値の充実こそが急務」 第16号

●九複連理事、大分県複写産業協同組合理事長 坂本憲治氏(株式会社さかもと、代表取締役)  
標題「第三次ペーパーレスの時代到来」 第17号

●福岡複写産業協同組合理事長 渡邊賢明氏(株式会社テクニカルライト、代表取締役)  
標題「組合は情報活動の交換の場」 第18号

●長崎県複写産業協同組合理事長 本村正敏氏(株式会社エビス堂コピーセンター、代表取締役)  
標題「これからの複写業に向かって」 第19号

●熊本県複写産業協同組合理事長 安武鎮男氏(熊本コピー株式会社(現在、(株)アクセス)代表取締役)  
標題「牛歩戦略で焦らず ゆっくり前進」 第20号

下記の賛助会員各社からも、ご寄稿いただいております。

※九複連 賛助会員 宮坂勝男氏(システム・エンジニア・サービス株式会社代表取締役)

※九複連 賛助会員 江口清戸氏(株式会社リコー福岡支店 支店長)

※九複連 賛助会員 池田次男氏(キヤノンコピー販売株式会社九州支店 支店長)

※九複連 賛助会員 武内憲一氏(富士ゼロックス(株)九州販売課 課長)

富士ゼロックス(株)は現在、富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社に社名変更になっております。

=====

九複連だよりご挨拶

=====

②九州複写産業協同組合連合会(九複連)の情報誌 1997年(平成9年)1月の「九複連だより」創刊号に当時の会長・副会長・理事の方々が寄稿されております。その方々の寄稿内容(28年前)を7回に分けてご紹介したいと思います。第1回目は当時の九複連、青柳会長のご挨拶です。

【テーマ】機関誌の充実、研修・情報の強化を図る

日本複写産業協同組合連合会理事

九州複写産業協同組合連合会

会長 青柳泰秀

日本経済も回復基調にあるとは言え長い状況から脱しえておりません。価格破壊や資産デフレが進み、我々中小企業を取り巻く環境は一段と厳しくなっております。

またドキュメントや図面のデジタル化が進み、我々のビジネス環境が一変しようとしております。

その中であって我々は日夜経営に努力しているわけであります。

私は、九複連の会員の皆様の九複連に対するニーズは、経営に役立つ情報の提供だと理解しております。

そこで今年は会員に役立つ情報の提供に努めてまいります。

そして、この変化の厳しい時代のヒントにしていただきたいと思っております。

先ず第一にセミナーや研修会を通じての再新の経営情報やハード・ソフト情報の提供。

第二に内外先進企業視察での情報収集。

第三に本年度から発刊致します「九複連だより」での情報提供です。

内容につきましては、九複連行事、理事会等で報告された情報をはじめ、各協同組合だより、賛助会員のPR、そして会員消息。

年四回位は発行したいと思っております。

どうか各協同組合の理事長、賛助会員の方々には主旨をご理解いただき、情報提供にご協力方よろしくお願い致します。

<アオヤギ株式会社 代表取締役社長(当時) 青柳泰秀>

【九州DS協同組合の行事予定】

①新年賀詞交歓会(九州イメージ情報業連合会と合同開催)

実施日:令和7年2月14日(金)午後6時~午後8時30分

会場:福岡市博多区博多駅前2-20-1 大博多ビル12F



頤和園(いわえん)博多駅前店 TEL.092-471-1021

【賀詞交換会式次第】

- ・主催者挨拶：九州ドキュメントサービス協同組合 理事長 長柄慈朗氏
- ・九州イメージ情報業連合会：会長 青柳泰一郎氏
- ・ご来賓ご挨拶：日本ドキュメントサービス協同組合連合会 会長 楠本雅一氏
- ・賛助会員ご挨拶：賛助会員各社様ご挨拶

※今回、新旧ご担当者ご紹介とご挨拶も併せてお願いします。

- ・乾杯のご発声 賛助会員をお願いします。
- ・ご歓談及びお楽しみ抽選会(ご歓談を挟んで行います)
- ・中締め 賛助会員をお願いします。

終了午後 8 時 30 分予定

<九州ドキュメントサービス協同組合 事務局 島村祐志>

~~~~~

10 【沖縄県 DS 協同組合】

~~~~~

沖縄県ドキュメントサービス協同組合よりお知らせいたします。

2025 年の新年会を 1 月 24 日に、組合員、賛助会員合わせ 12 名のご参加をいただき、徳門理事長の新年の挨拶、平良理事の乾杯にて開催いたしました。

賛助会員様にご協力いただき、富士フイルムビジネスイノベーション(株)関所長には、「富士フイルムグループの 90 年の歴史」と題して、フイルム事業から現在のヘルスケアに変化・進化された経緯等のお話をいただきました。

リコージャパン(株)、伊佐様からは「紙で始める SDGs」と題してフードペーパー編、米、ニンジン、クラフトビール、茶、バナナ、卵の殻などフードロスで発生する食材や生産工程で廃棄される食品廃棄物から作られる用紙の紹介、お客様へその商品を使って企業価値を高める提案のミニ研修会を開きました。

賛助会員各社様から情報のご提供をいただいております。

食事をいただきながらの仲間の懇親を深め、當野理事の閉会の挨拶で閉会させていただきました。

<沖縄県ドキュメントサービス協同組合 理事長 徳門聡佳>

~~~~~

11 【DS 連事務局より No.1】

中央省庁よりの周知情報（厚生労働省労働基準局労働関係法課）

※本情報は DS 連よりすでに配信をしています

~~~~~

さて、周知依頼が来ておりますのでご周知のほどよろしく願いいたします。

この度、厚生労働省労働基準局労働関係法課より、本会对し、下記の通り周知の依頼がありました。

下記 URL よりご確認ください。

よろしく願い致します。

<https://kinkid-s.jp/news/2025.1.17.docx>

1. 無期転換ルールに係るパンフレット 4 種のご案内
2. 令和 6 年分の所得税の確定申告及び事業者のデジタル化促進に関する周知のお願いについて

以上よろしく願いいたします。

<日本ドキュメントサービス協同組合連合会事務局長 小野恵美子>

~~~~~

1 2 【DS 連事務局より No. 2】

中央省庁よりの周知情報（厚生労働省職業安定局長ほか）

※本情報は DS 連よりすでに配信をしています

~~~~~

労働政策部\_全国中央会より周知依頼が参りましたのでご案内いたします。

下記 URL よりご確認ください。

<https://kinkid-s.jp/news/2025.1.29.pdf>

1. 令和 7 年度の大学、短期大学及び高等専門学校卒業・修了予定者等の就職・採用活動に係る公共職業安定所における取扱い等について

以上ご周知の程 よろしく願いいたします。

<日本ドキュメントサービス協同組合連合会事務局長 小野恵美子>

~~~~~

1 3 【DS 連事務局より No. 3（継続配信情報）】

中央省庁よりの周知情報（経済産業省）

地震対策に関する情報なので同じ情報を毎号配信しています。

※本情報はDS連よりすでに配信をしています

~~~~~

●地震情報のない日がないくらい地震は日常茶飯事です。

その備えのために前号に引き続き再掲いたします。

2025年1月17日は阪神淡路大震災発災から30年の年です。

いま一度その記憶を思い出してください。

また先日の日向灘沖地震により南海トラフ地震の発生確率が70～80%が80%へと発生確率が増えました。

個人的にも企業のBCPにも地震への備えは必要です。

参考にしていただければ幸いです。

#### 【阪神淡路大震災の記憶】

1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災（はんしんあわじだいしんさい）は、日本の兵庫県南部を中心に、強い地震とその後の被害を引き起こした大規模な自然災害です。

1月17日は発災から30年を経過しました。その記憶を思い出していただきいま一度災害への備えをお願いします。あわせてお亡くなりになられた方のご冥福を心からお祈りいたします。

以下はその概要です。

#### ●発生日時と場所

発生日時: 1995年1月17日午前5時46分

震源地: 兵庫県南部（淡路島南部）付近

震源の深さ: 約16km

マグニチュード: 7.3

#### ●被害状況

死者数: 約6,400人

負傷者数: 約43,000人

家屋倒壊: 約10万棟以上の家屋が倒壊または半壊

避難者数: 数十万人が避難を余儀なくされました

交通・インフラへの影響: 高速道路、鉄道、空港、港湾などが大きな損傷を受けました。特に神戸市内では道路が寸断され、交通が麻痺しました。

#### ●地震の特徴

震源が浅かったため、地震波が強く伝わり、広範囲にわたって甚大な被害をもたらしました。最大震度は神戸市を中心に震度7を記録しました。

地震は主に「直下型地震」として発生し、短時間で強い揺れが続きました。

#### ●影響と復旧

神戸市を中心に都市の中心部が壊滅的な被害を受け、復旧には長い時間と多くの努力が必要でした。

災害の後、国内外から多くの支援があり、特にボランティア活動が広がりました。

また、震災後には耐震基準の見直しや防災対策の強化が進められました。

阪神淡路大震災は、都市部での地震災害の脆弱性を浮き彫りにし、また日本の防災意識や都市計画に大きな影響を与えた出来事でした。

<Chat.GPT>

#### 【南海トラフ巨大地震 30年以内発生確率「80%程度」に引き上げ】

NHK：2025年1月16日 8時53分

政府の地震調査委員会は南海トラフの巨大地震が今後30年以内に起きる確率について、1月1日時点で改めて計算し、これまでの「70%から80%」を「80%程度」に引き上げ、公表しました。

今月13日に発生した日向灘の地震は影響しておらず、過去の巨大地震から時間が経過しているためだとして備えを進めるよう求めています。

#### ●今後30年以内の発生確率「70%から80%」→「80%程度」に

政府の地震調査委員会は日本周辺の海底や全国の活断層で想定される地震の発生確率について、毎年、1月1日の時点で計算し、公表しています。

このうち、南海トラフで想定されるマグニチュード8から9の巨大地震は、今後30年以内に発生する確率がこれまでの「70%から80%」を「80%程度」に引き上げました。

今月13日や、去年8月に日向灘で起きた地震は今回の確率には影響しておらず、想定している巨大地震が起きないかぎり、時間の経過とともに確率が上がるとしています。

30年以内に発生する確率については、南海トラフとして確率の算出を始めた2013年は「60%から70%」でその後、2014年に「70%程度」、2018年に「70%から80%」に引き上げられていました。

#### ●地震調査委員会 平田直委員長

「数字を丸めて表現すると70~80%が80%になったので、確率が10%上がったわけではない。一方で、いつ地震が起きても不思議はない数字であることには変わらない。引き続きいつ地震が来ても良いよう備えていただきたい」

<NHK：<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20250115/k10014694011000.html>>

### 【周知情報本文】

平素より大変お世話になっております。

経済産業省 文化創造産業課の石原島と申します。

日頃より防災対応の取組に関するご理解、ご協力等を賜り、ありがとうございます。

令和6年8月8日に発生した日向灘の地震においては、南海トラフ沿いで続いて発生する地震、いわゆる「後発地震」への注意を促す情報として、運用開始以降初めて「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」を内閣府及び気象庁から発表させていただきました。

南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されている市町村の住民や企業等の皆様に、政府としての「特別な注意の呼びかけ」を行ったところですが、情報発表時に適切な防災対応をとっていただけるよう、情報の概要やとるべき防災対応等について更なる周知が必要と考えております。

つきましては、会員企業等へ下記資料及び協力依頼の周知について、ご協力いただきますようお願いいたします。

また、日本海溝・千島海溝沿いにおける「後発地震」への注意を促す情報として、令和4年12月から「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の運用を開始しております。

この機会に、改めて当該情報につきましても、下記資料及び協力依頼の周知について、ご協力いただきますようお願いいたします。

#### （1）リーフレット「南海トラフ地震 –その時の備え–」

<https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/pdf/leaflet.pdf>

#### （2）マンガ冊子「南海トラフ地震 その日が来たら…」

東側編（閲覧用） [https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/pdf/manga\\_east\\_01.pdf](https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/pdf/manga_east_01.pdf)

東側編（製本用） [https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/pdf/manga\\_east\\_02.pdf](https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/pdf/manga_east_02.pdf)

西側編（閲覧用） [https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/pdf/manga\\_west\\_01.pdf](https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/pdf/manga_west_01.pdf)

西側編（製本用） [https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/pdf/manga\\_west\\_02.pdf](https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/pdf/manga_west_02.pdf)

※東側編は、南海トラフの東側地域（概ね、関東地方、東海地方）にお住いの方向けの内容になります。

※西側編は、南海トラフの西側地域（概ね、近畿地方、中国地方、四国地方、九州・沖縄地方）にお住いの方向けの内容になります。

※製本用は短辺とじで両面印刷し、中央部を折ってご利用ください。

#### （3）リーフレット「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震 –事前の備え–」

[https://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko\\_chishima/hokkaido/pdf/chishima\\_leaflets.pdf](https://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko_chishima/hokkaido/pdf/chishima_leaflets.pdf)

#### （4）マンガ冊子「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震 事前の備えで命を守る！」



◆DS 連メールニュースのお問い合わせは下記までお願いします◆

◆配信停止は下記までご連絡をお願いいたします◆

////////////////////////////////-////////////////////////////////

日本ドキュメントサービス協同組合連合会 本部事務局

〒541-0043：大阪府大阪市中央区高麗橋 1-5-6 東洋ビル

近畿ドキュメントサービス協同組合内

TEL：06-6222-8722

Mail：dsren@j-ds.or.jp

-----  
日本ドキュメントサービス協同組合連合会 東京連絡事務所

〒160-0004 東京都新宿区四谷 3-3-6 アイエス共同ビル

東京ドキュメントサービス協同組合事務局内

TEL：03-3356-5445

Mail：tds-kumiai@nifty.com

////////////////////////////////

#####  
2024年1月より「DS 連メールニュース (DSMN)」を配信しています。  
なお DSMN は DS 連にご縁のある方々にお送りしております。  
#####